記 者 発 表 資 料

平成２３年１２月２日
国土交通省東北地方整備局
胆沢ダム工事事務所

「胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催

～12月9日「胆沢ダム学習館」にて～

「胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会」は、胆沢ダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等を活用し、水源地域と下流地域の流域共同体意識を醸成しながら、水源地域の自立的かつ持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策等を定める「胆沢ダム水源地域ビジョン」を策定することを目的としております。
なお、詳細は下記のとおりです。

記

１．開催日時　平成２３年１２月９日（金）１３：００～１５：００

２．開催場所　奥州市胆沢区若柳字馬留81-1
「胆沢ダム学習館」

３．主な議題　(1)委員会規約について
(2)胆沢ダム水源地ビジョンについて
(3)今後の検討の進め方について

４．そ の 他　設立趣意書(案)等については別紙－１、２のとおり

＜発表記者会：奥州市政記者クラブ、日刊岩手建設工業新聞社、建設新聞社＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　胆沢ダム工事事務所 電話　０１９７－４６－４７１１
副所長(技術)　藤原（ふじわら）　政幸（まさゆき）　（内線２０４）
建設専門官　佐々木（ささき）　健一（けんいち）　（内線４０２）

別紙－１

胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会
設立趣意書（案）

胆沢ダムは、昭和28年に完成した石淵ダムの再開発事業として、秀峰焼石岳(標高1,548m)を水源とする北上川右支川胆沢川の上流部で建設を進めているもので、平成25年度の完成を目指しています。

現在、ダム管理においては、従来から求められていた治水、利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水環境等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や多様な地域資源を国民が広く利用できるよう、ハード、ソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されています。

このため、国土交通省では、関係行政機関や流域の関係者の理解を得ながら、水源地域の自治体、住民の皆さんと共同でダム毎に「水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の活性化を積極的に推進することとしています。

胆沢ダムでは、適切なダム管理及びダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等を活用した、水源地域と下流地域の流域共同体意識の醸成及び水源地域の自立的・持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策等を定める「胆沢ダム水源地域ビジョン」を策定するために、有識者・関係行政機関・流域の自治体・流域の住民の皆さん・ダム管理者等による「胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立するものです。

別紙－２

胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員 候補者

学識者	海田　輝之	：岩手大学 工学部 社会環境工学科 教授
	千葉　啓子	：岩手県立大学 盛岡短期大学部 教授
住民代表等	佐々木　壽雄	：エコワークいさわ水の郷 代表
	近藤　有慶	：胆沢ダム水資源のブナ原生林を守る会 代表
	佐々木　真一	：水沢カヌークラブ 事務局長
	軍司　俊道	：NPO法人北上川流域連携交流会 理事長
	千葉　嘉彦	：NPO法人エコスタディいさわ 代表
	佐々木　隆男	：社団法人 奥州市観光物産協会 会長
	松平　アイ子	：いさわ女性の会 会長
	佐々木　京子	：奥州商工会議所 女性会 胆沢支部 支部長
教育	小松　伸也	：奥州市立胆沢愛宕小学校 校長
報道関係	佐々木　隆男	：株式会社 胆江日日新聞社 代表取締役社長
利水者	及川　正和	：胆沢平野土地改良区 理事長
	小沢　昌記	：奥州金ケ崎行政事務組合 管理者
	金澤　哲雄	：電源開発株式会社 東日本支店 東和電力所 所長
	青木　俊明	：岩手県企業局 局長
行政	小沢　昌記	：奥州市長
	高橋　由一	：金ケ崎町長
	深澤　忠雄	：岩手県県南広域振興局 土木部長
	藤原　豊宏	：岩手南部森林管理署 署長
	田上　澄雄	：東北地方整備局 河川部長
	矢沢　賢一	：北上川ダム統合管理事務所長
	松井　幸一	：胆沢ダム工事事務所長

（順不同、敬称略）

計　２３名